

レジメンNo. 4153-3		レジメン名 ゾルベツキシマブ+sLV5FU2【13コース目以降】			
病棟 患者番号 氏名	癌種	ステージ	PS	クール数	指示医師名
	年齢	身長	体重	体表面積	GFR(血清クレアチニン値)
	歳	cm	kg	m ²	ml/min (mg/dl)
【適応がん種】 胃癌		ゾルベツキシマブ/1-LV/5FU		【その他注意事項】 胃癌 1st line推奨 CLDN18.2 陽性 且つ HER2陰性 の患者のみ 催吐リスク HECに準じた対応 13コース目以降から使用！！ L-OHPなし	
1・ゾルベツキシマブ	400 mg/m ²	DAY1	2回目以降		
2・レボホリナート	200 mg/m ²	DAY1			
3・フルオウラシル bolus	400 mg/m ²	DAY1			
4・フルオウラシル 持続	2400 mg/m ²	DAY1			
42日(6週)1クール					
NO	薬品	規格	本数	溶媒	時間・投与法
①	アプレピタント125mg内服				
②	パロノセトロンパック		1 本		全開で点滴
③	デキサメタゾン 6.6mg		1.5 本	5%ブドウ糖 50mL	②終了後～ 15分で点滴
④	生食50mL		1 本		③終了後～ 全開で点滴
⑤	ピロイ ()mg	100mg	本	注射用水5mL で溶解(20mg/mL) →生食で2mg/mL になるよう希釈	④終了後～ 投与速度は別紙参照
⑥	生食50mL		1 本		⑤終了後～ 30分で点滴
⑦	レボホリナート()mg	100mg 25mg	本 本	5%ブドウ糖 250mL	⑥終了後～ 2時間で点滴
⑧	フルオウラシル bolus()mg	1000mg 250mg	本 本	5%ブドウ糖 50mL	⑦終了後～ 全開で点滴
⑨	フルオウラシル 持続()mg	1000mg 250mg	本 本	生食で全量120mLに 調整(2.5mL×46hr)	⑧終了後～ 主・46時間で持続点滴 シュア-ヒューザーポンプ使用！！
【注意事項】 Infusion reactionの予防が必要な場合は、投与30分前に、ジフェンヒドラミン(レスタミンコーワ50mg内服)、必要であれば、アセトアミノフェン(カロナール300～1000mg)の投与を考慮する。					
【看護師注意事項】 Infusion reactionとして、発熱、悪寒、そう痒症、発疹、高血圧、低血圧、呼吸困難等があらわれることがあるので、本剤の投与は重度のInfusion reactionに備えて緊急時に十分な対応のできる準備を行った上で開始すること。また、2回目以降の本剤投与時にInfusion reactionがあらわれることもあるので、本剤投与中及び本剤投与終了後はバイタルサインを測定するなど、患者の状態を十分に観察すること。なお、Infusion reactionを発現した場合には、全ての徴候及び症状が完全に回復するまで患者を十分観察すること。 インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を使用すること。					
【投与速度】 下記の表を参考に投与を行うこと					
用量	投与速度				
	投与開始から30～60分後まで	その後			
800mg/m ²	100mg /m ² /hr	200～400mg /m ² /hr			
600mg/m ³	75mg /m ² /hr	150～300mg /m ² /hr			
400mg/m ⁴	50mg /m ² /hr	100～200mg /m ² /hr			
投与予定日	投与スケジュール	投与時間	備考欄	202406作成	
	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	DAY1			